○　新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）		
種類	□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 危機管理建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	林務部
	□ その他	名　　称	

件名	**12　カラスによるフン害等に対する広域的な取組の推進について**
提案市	長野市
提案要旨	近年、本市中心市街地では、多数のカラスの飛来が見られ、ごみの食い散らかしやフン害、騒音などの被害が目立つようになったことから、野天のごみ集積所へのカラス除けネットの設置や職員による追い払いなどの対策を進めているが、長野市のみの対策では限界があることから、県による広域的なカラス対策の推進を要望する。
提案理由	カラスの行動範囲は、半径30kmほどといわれており、市単独での対策では限界があること、都市部では駆除は困難なことから、駆除や追い払い、エサとなる果樹等の取り残しへの対応など、地域ごとに効果的な対策を広域的に実施することが効果的であるため、県において、関係市町村間での情報共有や効果的な対策の複合的な推進を要望する。
現況及び課題等	本市中心市街地では、平成28年頃からカラスが街路樹や電線、ビル等に群れをなすようになり、ごみ集積所での生ごみの食い散らかしや路面への大量のフンなどの問題が表面化してきた。被害は、一年を通じて見られるが、特に秋期から冬期にかけての夜間は、カラスの飛来が増加している。 本市では、ごみ集積所のごみに対するカラス被害を防止するため、カラスよけネットの利用や、野天のごみ集積所の見直しなどを市民に呼びかけるとともに、中山間地域での捕獲やカラスのエサとなる収穫物の取り残し対策などにより、カラスの増加を防ぐよう市民に協力を呼び掛けている。 また、市の関係部局や関係団体等と対策会議を開催し、情報共有と効果的な対策の検討を進めているが、市単独での取組には限界があり、状況の改善が見られない。
関係法令	